

# 七宝焼き（ペンダント）

ブドウやリンゴの形をした銅板の上に色ガラスの粉をのせ、高温で焼くと光沢の美しい七宝焼きができます。チェーンをつければオリジナルペンダントに。お土産に最適です。



## ねらいとして考えられるもの

- ① 想像力・表現力を高める
- ② 名栗の思い出の作品を作る。

## 可能な活動場所

集会室

所員の指導	対象	月	人数	所要時間	費用
指導可*1	小学生以上	通年*2	10~60人 *3	1時間半	500円

## 団体が準備するもの

なし

## げんきプラザで貸し出せるもの

銅板（ブドウ・リンゴ）・チェーン・チェーンのつなぎ・釉薬・竹串・ティッシュペーパー・紙やすり・接着剤・網・水差し・焼きがま・延長コード・火鉢・鉄台・軍手・バケツ・新聞紙・雑巾・やかん・ラジオペンチ

## 実施要領

### 打ち合わせ

- ・開始 15 分前に、職員と団体代表者の打ち合わせを行います。

### 導入

- ① 動機付け
- ② 安全上の注意（下記「留意点」を参照）

### 準備（1テーブル 6人程度）

- ① 机を2つ合わせて新聞紙を一面に引く
- ② セットされた道具を各テーブルに1つ運ぶ。
- ③ 竹串・紙やすり・型・チェーンをテーブルに居る人数分用意する。  
※銅板はなるべく油分が付かないよう、端を持つ。

### 実施

- ① 銅板を網の上ののせる。
- ② 竹串を使って銅板に釉薬をのせる。  
※厚さははがき1枚程度の厚さをのせる。  
※2種類以上の釉薬を使う時は、必ず竹串を水洗いしてから次の釉薬を使うようにする。  
※色の違う釉薬を重ねると焼きあがりて色が変わってしまうので、重ねないようにする。  
※銅板が見えている部分は焦げてしまうので、全体が隠れるように釉薬をのせる。  
※リンゴの銅板の穴を釉薬でふさがないようにする。
- ③ 釉薬をのせたらティッシュペーパーで水分を吸い取る。
- ④ 網にのせたまま、かまへ持っていく。  
※かまへの出し入れは指導者が行う。  
※かまは約800℃ととても熱いので、周りには近寄らず焼きあがるまで遠くで待機する。  
※焼きあがった後5分程度はかまのそばで冷ましておく。
- ⑤ チェーンをつける。

### 片付け

- ① ケースに入った道具類やその他の道具を所定の場所に戻す。
- ② ティッシュペーパーや新聞紙をゴミ箱に捨てる。
- ③ 床に落ちているガラスの粉やゴミを掃き掃除する。

### まとめ

- ・作品を披露し合う。
- ・ふりかえり
- ・七宝焼きはかまの温度や釉薬の厚みで色や光沢が変わるので、できあがったものと同じものは出来ない。たったひとつの作品なので大切にしよう伝える。

### 留意点

- ・銅板には油分がなるべく付かないように扱う。
- ・釉薬は色が混ざると使えなくなってしまうので、1色使うごとに竹串を水洗いする。
- ・かまは大変熱くなるので、指導者が管理をし、子どもは離れた場所から見るようにする。
- ・焼きあがった型は冷めるまで数分かかるので様子を見ながら待つ。

### 指導のポイント・展開のアイデア

- ・できあがりを使った釉薬の色を比べ、変化を見る。

\*1 指導可能時間は 9:15～11:45 13:00～17:00 です。指導希望団体が重なる場合等、ご要望に添えない場合や、団体指導者をお願いすることがあります。

\*2 7,8月の実施は要調整

\*3 60人を超える場合は、2班に分けて実施したり、交代で実施していただく場合もあります。